

# 44億8900万円を可決

# 平成27年度一般会計予算

平成27年3月定例会は、3日から12日までの会期で開き、平成27年度各会計予算8件、平成26年度各会計補正予算7件、条例の一部改正など19件、議案の審議が行われた。承認案件を2件、一般会計予算など43議案を可決、議員派遣について1件、総務常任委員会から提出された意見書2件、産業経済土木委員会から提出された意見書5件を可決した。（議案一覧をp.4、5に掲載）

一般質問（p.8から関連記事）が行われ、10人の議員が町の課題について執行部の考えをたじた。また、議員から提出された地方創生特別委員会の設置を決議した。



▲整備された産業振興センター交流広場

### 議案審議

以下の議案について、討論がありました。

### 議案第20号

「工事請負契約について」（内容）

平成26年度産業振興センター交流広場整備工事請負契約の変更

### 反対討論

宮田俊一議員  
 工事は変更がないような形で契約をすべきであり、今回の契約変更には、今までの状況からして反対する。

### 指定管理者制度

が分担して支払う。業務形態については、日勤の職員の配置、代替えの配置という対応して頂きたいと考えている。

「今までの個々の対応で指定管理料を決めていたが、ある程度のルール作りをする必要があるのではないか。また、集会所のように指定管理者制度を使っているが、指定管理料を賈っていない所がある。線引きをしないと、不公平な制度になる。」

「衛生センターの改修時期は清掃センターの大規模改修が終わるまでは決めていないことだが、ある程度の用途を本町として持って、広域で調整をしていくべきではないかと思うが。」

「衛生センター改修時期を繰り延べておるということではない。平成27年中に改修計画を作りたいと考えている。」

### 6次産業化

「農業公社等、法人では6次産業化に取り組みなのか。」

「産業起こしの事業化を図るよう、農業公社で町内の6次産業化を目指す事業者とも検討する。」

「施設の維持は従前どおりの集落に何とか維持を

### 賛成討論

河邑一雄議員  
 工事施行中における様々な要因により工事費用、そして工期の変更があると聞いた。工事には変更はあるもので、私はこの契約変更に対して賛成する。（賛成多数・可決）

### 一般会計総括質疑

平成27年度一般会計予算は、前年度から9億8600万円（28・1%）増の44億8900万円となった。

### 18歳までの医療費無料化

「検討することのことが、6月定例会で結果を示すのか。」

「国保の医療費の状況等も委員会等で検討いただき、対象年齢を上げてよいとなれば、制度の拡充を図っていくべきだと思う。議会の方でも検討頂きたい。」

「してもらいたいが、将来集落機能を維持していく為に、一定の支援をしていくことは考えられるのではないかと思っている。」

### 日本で最も美しい村連合

「この事業予算には環境整備に対する予算はないが、どうなっているのか。」

「本山町日本で最も美しい村づくり推進本部で検討し、補正予算で対応する。」

※「日本で最も美しい村」連合は、失った二度と取り戻せない日本の農山漁村の景観・文化を守りつつ、最も美しい村としての自立を目指す運動をしています。



▶日本で最も美しい村連合 ロゴマーク

### プラチナセンター

「トイレの改修について、早期の着工を願う。」

「早期に準備し、建設課で設計委託、準備工へ移らせて頂く。中身については、総事業の枠があるので、その中で検討させて頂きたい。」

### 事業の進捗

「線越の大型事業が今年集中し、地方創生も27年度にとなっている。十分な人員配置で事業などの遅れがないよう取り組みを望む。」

「事業の線越がある。人員は、今年の採用は6名だが、5名が退職と厳しい状況。議会のご意見も頂きながら事業の進捗を早くしていくように努めていきたい。」

### 広域負担金

「衛生センターの改修、改築の設計委託、工事を行う計画がまだ出来ていなかったと思うがどうか。」



▲大規模改修する清掃センター

「また、消防署本署の耐震化、運営、業務形態を変えるのか。または人員を増やし、救急と消防を同時に出来る体制にするのか。」

「平成27年度から計画をして清掃センターの大規模改修にあたる。それが、一定の用途がついた段階で衛生センターの改修に着手する。」

「消防本庁舎は、財源の見通しがたてば本年度から耐震と内部の改修工事の計画をしている。」

「大豊分署は、対岸の大田口のふれあいセンター一部を大豊町の事業で改修し、移転する計画をしている。工費は、広域



▲自伐型林業

### 林業基盤整備

「条件整備の予算が十分に思われる。何らかの対応が必要だと思うが。」

「林業では、基盤整備等非常に重要。造林事業費の中に、国、県の事業に継ぎ足しをしての事業項目があり、その事業の中では、路線が、12路線6000m、森林整備は50ヘクタールの事業を計画している。」

### 一般会計逐条質疑

「計上されている『定住住宅支援整備事業』1千万円について、「業者の選定や土地の貸与の方法など、内容が不透明」といった

※定住促進にむけて、本山地区の工場跡地を町が購入して整備し、民間の集合住宅を誘致する内容。

●地方創生対策特別委員会を設置  
 委員長 大石 教政 議員  
 副委員長 河邑 一雄 議員

○=賛成 ●=反対

審議した議案等		長瀬 美和	大石 教政	澤田 康雄	上田 垂矢子	永野 栄一	細川 博司	中山 百合	宮田 俊一	河邑 一雄	岩本 誠生	可否
承認	専決処分承認を求めることについて（水道事業本山区配管整備工事契約変更・吉野浄水場等施設整備工事契約変更）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議案	議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	地方自治法第203条による職員の報酬及び費用弁償の額並びにその支給方法条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	証人等に対する費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	税賦課条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	保育所設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	保育の実施に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	人権尊重の社会づくり条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	出産祝金に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	汗見川へき地診療所設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	奨学金貸与条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	工事請負契約の変更について（産業振興センター交流広場整備工事契約の変更）※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
子ども・子育て支援事業計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
他の市町村の公の施設の使用に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
平成26年度一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
平成26年度汗見川へき地診療所事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決

※2 この議案について、賛成・反対討論を②pに掲載しています

○=賛成 ●=反対

審議した議案等		長瀬 美和	大石 教政	澤田 康雄	上田 垂矢子	永野 栄一	細川 博司	中山 百合	宮田 俊一	河邑 一雄	岩本 誠生	可否
議案	平成26年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	平成26年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	平成26年度通所リハビリテーション事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	平成26年度後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	平成26年度病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	平成27年度一般会計予算 ※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	平成27年度汗見川へき地診療所事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	平成27年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	平成27年度簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	平成27年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	平成27年度通所リハビリテーション事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	平成27年度後期高齢者医療保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	平成27年度病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	特定公共賃貸住宅使用料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	滞在型市民農園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	他の市町村に公の施設を使用させることに関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	議員発議	議員派遣の件（土佐・長岡郡町村議会連絡協議会総会等他16件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議会傍聴人取締規則の一部を改正する規則		○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
「最低賃金の大幅引き上げ」「全国一律最低賃金制度」を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
「公契約条例の制定」を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
農協改革など、「農業改革」に関する意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
T P P交渉に関する意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
政府による米価対策を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決	
郵便と金融のユニバーサル・サービスを提供する義務を全うできる株式処分のあり方の検討を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決	

※1 この議案について、詳しい内容を③pに掲載しています

私は賛成・反対しました

私は賛成・反対しました

委員会報告

総務常任委員会

報告

1. 調査月日 2月27日

2. 所管事務

まちづくり事業と財政計画に関する調査
予想される今後の大型事業(土佐本山橋・水道改修・新庁舎・住宅建替え等)と財政見直しについて

3. 調査概要

総務課長より資料に基づき説明があった。
歳入は、地方税で1・4%、地方交付税1・2%の減額が予想される。また、大型事業で国庫支出金は増額することが予想される。
歳出は、補助費(広域負担金)、投資的経費では病院、普通建設事業では大型ハード事業が見込まれる。平成28年度から地方創生交付金が創設され、平成27年度中には地方版総合戦略に基づき交付されるが、一方では地方交付税が減額される懸念もある。



▲建設が進む新土佐本山橋

② 寺家安土地区生活道路崩落箇所を調査した。
寺家区長及び当該地区住民の方より被災の状況説明を受けた。

現状では小型車両の通行は維持できているが放置すれば被害が拡大することは明らかである。地区からは修繕実施と町道への昇格編入の要望が寄せられたことから必要な検討を行うこととした。

③ 大石カライワ地区の地滑り被災状況を調査した。
昨年8月の台風降雨時、集落上層山麓の異常出水により、全戸が2度自主避難をした。

当日は、高知県中央東土木事務所本山事務所担当者の同席を得、地区区長、関係者の

また、平成25年度決算の実質公債比率は8・8%であるが、今後大型事業などで増加することが見込まれる。

特に、広域の負担金の増額によって実質公債比率は、上昇する可能性があるとの説明があった。

以上、調査の結果、健全化判断比率の状況は健全であり、今後5年間の財政計画も広域負担金の状況によっては変動のあるものの、健全に計画されていると認めた。

中間報告

1. 調査月日 2月27日

2. 所管事務

(1) 保育・教育環境の充実に関する調査
(2) 保健福祉・高齢者対策に関する調査

3. 調査概要

教育長、健康福祉課長より資料に基づき説明があった。
ア 保育の現状と課題(定員等)対策について
平成27年度入所申し込みは現在114名。園舎増築については、当初予算では見送っ



▲増築予定の本山保育所

たが、平成27年度の有利な事業で設計を実施。委員会としては早期の着工を希望する。
学校施設整備では、耐震関連事業は平成27年度ですべて完了される。大きな事業では本山小学校校庭整備事業が残っている。

イ 平成27年度教育方針

来年度教育版アクションプランは①ICT教育環境の整備②連携教育本山プランの推進③外国語活動の推進事業に取り組み④読書活動の推進。主に学校の授業改善が行われる。防災教育では吉野小学校本山小学校において防災マップの作成を実施。委員から、防災士を活用した防災教育に力を入れるべきではないかとの意見があった。

説明と防災対策実施についての要望を受けた。

水資源対策特別委員会

中間報告

1. 調査月日 2月23日

2. 所管事務

早明浦ダム、同発電所瓜生野取水ダム及び山崎ダム等水資源関連施設に関する諸問題や水資源涵養に関する諸問題整備等について、適正に処理するための調査

3. 調査概要

「吉野川上流ダムの安全性」についての調査のため、四国



▲水資源対策特別委員会による視察(昭和24年竣工の長沢ダム)

電力(株)の大橋ダム、長沢ダムを視察した。

大橋ダムは昭和15年、長沢ダムは昭和24年竣工のダムであるが、堅硬な岩盤を確認のうえ、建設されており堤体内も含め定期的に巡視、点検を行ない適切なダムの維持管理に努める。コンクリートダムは3年に一度、国土交通省の検査を受け、適切に管理されていることを確認し、目視では風雪、雨水等による剥がれた部分も見受けられるが、数センチ内部は十分強度が確保されているとの報告を受けた。

貯水池周辺の斜面や地山の状態は、定期的な巡視点検により異常がないことを確認し、異常が認められた場合には、専門技術者による調査などをし、安全確保に努めている。

大規模地震に対するダムの安全裕度確認のため、重力式ダムは大橋ダム、ロックフィルダムは稲村ダムの調査を実施し、耐震性を確保していることを確認した。新南海地震想定での調査は実施中である旨報告を受けた。

介護保険について(介護福祉計画作成に当たり基本的な考え方)
ニーズ調査では在宅介護と施設介護が半々という結果。本町は65歳以上の高齢者は1600人うち介護認定は300人程度で推移していくと考えられ、施設への要望はないが、入所希望時に入所できない実態がある。委員からは入所できる施設がなければ、管外の施設に入所する懸念も出され、計画に施設建設を反映させていないと補助事業採択にならない場合が起きるのではないかなどの意見があった。

産業経済土木常任委員会中間

報告

1. 調査月日 2月19日 2月25日 2月10日

2. 調査事件(所管事務)

(1) 本町の産業振興に資する為の諸施策並びに生産関連施設及び生産関連基盤の充実強化に関する調査
(2) 本町内の国道・県道・町道等生活道の整備と早期改

良等に関する調査

3. 調査概要

(1) 本山町商工会青年部員と懇談会を開催し部員が抱える課題と展望について調査を実施した。

特に、公的住宅の整備について要望が多くから寄せられた。

今後も、定期的に懇談会を行うことを双方で確認した。

(2) JA改革が及ぼす本町農業の影響について調査を実施した。

土佐れいほく農協西村組合長、同和田常務から、政府の進めるJA改革及び平成30年度を目標年次に作業が進められている高知県下農協組織統合について、その現状と課題についての講演を受けた。

安倍政権が進める農協関連組織改革は、農業者、組合員のみならず、他の住民生活にも大きく影響するものであり、今後も注視し適宜対応を行う必要を認めた。

(3) ①新土佐本山橋架橋工事の寺家地区内における橋台部建設工事の現地調査を実施した。
今西副町長、川村建設課長より説明を受けた。

報告

1. 調査月日 2月24日

2. 所管事務

嶺北中央病院の経営改善に関する調査

3. 調査概要

①医師住宅、②平成27年1月までの収支状況は③医師看護師の状況、④来年度普通建設事業計画の報告を受けた。
医師住宅は総事業費

125,234千円で昨年11月に完成している。収支状況については純利益▲17,296千円である。決算見込みでは純利益▲73,000千円、経常収支31,134千円で、これは本年度よりの会計制度の見直しのためである。

医師看護師の状況は、本年度医師数7人に対し来年度当初は10名の医師数になり、検査体制等が充実。

看護師は現在60名、定年退職が1名で来年度4月2名の採用がある。奨学金は2名の申請がある。来年度普通建設事業は、医師住宅2戸改修と本館の雨漏り改修、及び一般



▲嶺北中央病院経営改善対策特別委員会による視察(平成26年11月竣工の医師住宅)

X線撮影装置の導入が計画されている。

医業収益には医師数が大きく影響する。来年度は7名から10名となり、検査件数の増加が見込まれ、看護師の増員が不可欠である。看護師確保は、奨学金制度の広報などを通じ積極的に進めなければいけない。さらに短期・中期・長期を見据えた居住環境の充実も検討しなければならぬ。

病院経営は、ここ数年病院スタッフの努力にもより、収支は大きく改善してきた。ここに当委員会は当初の調査目的を達したものと判断し、調査を終了した。

地域住民のニーズに即した医業サービスを提供し、健全な経営を持続させることを願う。



河邑 一雄 議員



▲高性能機器導入による省力化

### 林業後継者対策を問う 森林組合等との協議を進める

**問** 平成25年度から大豊町へ「銘建工業」が進出、又、寺家には「本山町森林組合」とさ本山共販所」がそれぞれ稼働し、嶺北地域のみならず、県内の林業従事者関係者にとっては今後の森林の有効な活用、所得増を期待するところである。「地方創生」、高知県の進める林業施策「林業学校」「県小規模林業推進協議会」等関連した本町の今後の林業後継者対策を問う。

**答** 現在、本町独自の「林業技術後継者対策」として補助金制度も実施しているが、今年の1月に「小規模林業推進協議会」の開催、又、新年度から開校する県の林業学校との連携、又林業事務所、森林組合、林業従事者、林業団体との今後の協議を進めて行く。地方創生の中で、後継者育成対策として様々な取り組みを実施していく。

### 檜の川付近の優先改良を 新本山バイパス構想と並行して

**問** 一区域の未改良区間については、両側に家屋があり、歩道を設置することは困難であり部分的な改良では全面的な改善的にはならない区間も想定される。

**答** 今議会で町長は、国道439号線改良要望について、将来構想として「新本山バイパス」を含めた下津野、本山区間の早期着手を精力的に要望していくとのことであった。国道改良要望について、田高須区間の完了と併せて、一区域、吉延高角への入口、檜の川付近の道路幅も狭く、歩道の幅も十分確保されておらず、通行に支障をきたしている地域を優先的に関係機関へ要望していくべきでは。



▲改良が急がれる松村交差点

**問** 県道坂瀬吉野線において、吉野地区から坂本地区間は町道等、車が通行できる迂回路がない。吉野地区坂本地区間の県道において、県道への土砂災害道路決壊等が発生した場合、汗見川190名余りの6集落は陸の孤島となる。汗見川地域を挟んだ県道の対岸へ町道の拡幅、改良、あるいは林業作業道とのいずれが、車の通れる道の早急な開設が必要であると思ふ。



▲被災した県道坂瀬吉野線

**答** 汗見川対岸にある町道は、軌道跡地を町道に編入したもので、幅員も狭く地形も急峻なことから現道を広げることは多額の事業費を要し、県道側より急峻な地形から集中豪雨等に山手崩壊や路側決壊等の危険性が予測される。汗見川右岸側への迂回路確保よりは、左岸県道を災害に強い道路に整備する方向で、県道の残る部分の改良工事の促進要望をしていく。

### 坂本吉野間迂回路開設を急げ 県道整備で対応

**問** 土佐町側の堤防建設への吉野寺家地区の安全対応、中央病院下の河床など安全策を聞く。  
ダム建設前の清流、河川環境を取り戻したいと考えるが、共に強く要望できるかを問う。  
県、水資源機構との連携は十分に取れているのかを聞く。

### 吉野川の安全確保が必要では 関係機関との連携も事前に図っている



長瀬 美和 議員

**答** 気象情報への注意は払って行かなければならぬ。水資源機構からの適切な情報連携が有り、増水洪水時に対応が出来ている。県は寺家地区への影響調査をしている。嶺北中央病院下の河川区域は、要望により立木の伐採取り除きを行った。ダムにより、河川環境は変化した。ダムの貯水量が多く改善は難しいが、濁水冷水対策など改善の働き掛けは共に続けたい。



▲昨年の豪雨で増水した吉野川

**問** 希望にに応じ女性が職場や家庭地域で個性と能力を發揮できるように先進地視察などを行い、学びの場づくり、産業人材育成を図る考えはないかを聞く。  
**答** 人口減少を食い止め、女性の活躍の場の確保に努める。男女共同参画、子ども達の人權教育で男女平等教育を推進し、安心できる子育て支援をする。活動の場としてミニデイ他地域に出向いて地域で支え合い自立した生活を送れるよう、又、介護サービスも家族との連絡を取りながら支える努力をしていく。商工業の皆さんとも、研修による地域の活性化交流で町全体が元気になる活動を目指す。ふるさと納税対応で、ホームページ、カタログ

### 女性が活躍する社会の実現 産業振興、女性の働く場が 出来つつある

作成を計画、女性の目を取り入れ喜んでもらえる品を考える。



▲地域を元気にするリハビリキッチン

### 慎重な場所 選びを願う 企業と連携し 計画中的である

**問** 観光拠点のづくりの構想を問う。  
カヌーや山岳競技なら吉野地区が適地ではないか。



▲寺家カヌー競技場での大会風景

※エコパークとは生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的としてた生物圏保存地域  
※ビジターセンターとは国立公園や国定公園などにおいて、その自然(地形・地質・動植物)などの情報を展示・解説し、公園の利用案内を行う施設のこと

**答** 産業振興計画に組み入れ、観光拠点施策として企業と協議中である。活動はいろいろ有るが、嶺北エリアへの観光誘致、根下がり松など資源を※エコパーク化するなど資源に磨きを掛けていく。※ビジターセンターを確保して、吉野地区も含め拠点施設の広がりを目指したい。



澤田 康雄 議員

**問** 本町は平成20年から始めている返礼品も種類を増やし、カタログ、インターネットサイトとも連携し寄付の増加に取り組む。

**答** 地産地消の棚田米、赤牛肉、地酒、地元企業のゆず加工品等売りのチャンスだ。まさに地産外産だと思ふ。取り組みを問う。

### ふるさと納税の拡充は増加に取り組む

**問** 実態は自分のふるさとではなく応援したい自治体に寄付している。地方同士の競争で、アイデア勝負になっている。



▲ふるさと納税ギフトの一部

### 若者・高齢者向け住宅の計画を早急に

町営住宅建設は考えていない



▲市街地に建設された町営住宅

**答** 今改良住宅50戸を急いでいる為、町営住宅は考えていない。町が土地を購入し民間の力での集合住宅を進めている。

**問** 若者の要望として、1番は住宅問題です。本町に住みたくても家がなるとの声を聞く。若者や高齢者向け住宅を早急に具体化し建設すべきでは。計画はないのか問う。



▲猪防護柵設置作業

**答** 本町の被害額は、平成24年882万円、平成25年は943万円となっている。狩猟者育成に補助はしている。報償金については検討する。

**問** 本町の農作物等の被害状況は。減少する狩猟者の確保のためにも報償金の増額が必要と思うが予定はないのか。

### 有害鳥獣被害対策事業は報償金は検討する

**問** 本町の2カ所の沈下橋の強度点検又、将来的には県道を整備し高架橋が必要と思うが。

**答** 本町の2カ所の沈下橋は40年以上経過している。平成23年より長寿命化計画で5年毎の目視点検、又27年は修繕予定。

#### その他の質問

### 高校卒業まで医療費無料化を慎重に検討したい



中山 百合 議員

**問** 現在本町では、義務教育期間中の児童に対して医療費が無料になっているが、この制度を高校卒業年齢まで延長できないか。



▲18歳まで医療費負担無料化を



▲椎茸栽培で自立を

**答** 現在、第2期地域おこし協力隊として、それぞれ活動をしている。平成28年3月をもって任期終了となり、退任後起業を考えている隊員については、本山町に定住できるように支援をする。

**問** 協力隊への支援はどのように考えているか。

### 地域おこし協力隊への支援は定住できるように取り組む

### 新本山大橋の修繕を県に要望する



▲欄干の補修が急がれる新本山大橋

**問** 新本山大橋の欄干等が老朽化し危険な状況に置かれている。高知県に対して早急な改修に働きかけるべきではないか。

**答** 変更はない。3年目途に完成する。  
**問** 28年度、隊員を導入する予定はあるか。  
**答** 継続していきたいと思っている。

**問** 平成27年度着工することに変更はないか。  
**答** 変更はない。3年目途に完成する。

**問** 27年度に、1階と2階に洋式トイレを早急に設置する。  
**答** 27年度に、1階と2階に洋式トイレを早急に設置する。

#### その他の質問

**答** 架橋後20年以上経過し、木造部分が腐食している。危険箇所を調査のうち、改修を県の方へ働きかけていく。



細川 博司 議員



▲庁内に設置された地方創生対策本部

### 体制はできているか 具体的対応を検討中

**問** 国の地方創生策への対応は、住民参加と職員の協働で「住民力・職員力」に支えられたまちづくりを基本に置くべきではないか。  
あわせて、汗見川集落活動センター3年間の活動で得た成果を地域活性化の拠点機能整備に活かさないか。

**答** 庁議に、役場本部を設置した。

今後、町民各層参加の「まち・ひと・しごと創生会議」を設置する。この中で町民の創意工夫を計画に盛り込み地域の活力を生み出し、計画策定と実行にも町民の力を糧としたい。

創生会議の構成・運営、職員の参加対応方法等を検討中である。活動センターの成果点検評価は現在行っている。結果を公表し他の地域にも生かして行きたい。

### 自伐型(小規模)林業の振興を育成につとめる

**問** 大半の森林が未利用の状況にある中、特に自伐林家の育成も効果的対応と考える。林業起業を目指す地域おこし協力隊員も含め、人材育成につとめる。県内先進地と連携し国への政策提言も検討する。

**問** 山主還元を目指し活動している法人、椎茸栽培や伐採搬出業を志す青年が活動し、おおよそ製材の操業による需要の増加もあり、林業の将来に希望も見える。国は自伐型(小規模)林業振興とCLT工法の制度整備を地方創生策の中に位置づけている。早急な政策対応を求める。

**答** 各保険料の軽減措置への財源補填措置等の一部の対応は実施された。増税による町民生活への影響を危惧し、町の社会保険施策の適切な対応を図る。



▲国民健康保険レセプト点検

### 消費税増税の国保年金等への影響は一部であり大きな改善はない

**問** 昨年の消費税増税は、国保、後期高齢者医療保険、介護保険、年金等社会保障の拡充策財源の根拠づけとされたが状況はどうか。増税影響と見合う対応はされたか。

**答** 各保険料の軽減措置への財源補填措置等の一部の対応は実施された。増税による町民生活への影響を危惧し、町の社会保険施策の適切な対応を図る。

#### その他の質問

**問** 下津野地区内(通称…島の河原)の残土搬入造成は、吉野川増水時の流れを妨げ、大規模水害の発生が心配されているが。  
**答** 早急な調査と対応を行う。

### シェアオフィス・クラインガルテンは27年度に整備予定



大石 教政 議員

**問** シェアオフィスの現在の運営状況と、クラインガルテン施設の復旧状況及び26年度に計画された道路整備事業はどうか。  
**答** シェアオフィスの整備とクラインガルテンへの連絡道は27年度に整備予定である。



▲雇用が期待されるシェアオフィス

### 本山保育所の施設・環境の改善は増築を検討している

**問** 園児が増えているようだが、施設の増築・改善の考えはないか。

**答** 建物は地方創生などで増築を検討したい。運動場は、行事の際に本山小学校グラウンド使用も検討したい。



▲活発に遊ぶ園児たち

### 四季菜館の運営は新たな体制で取り組んでいる

**問** 四季菜館の経営改善に与える駐車場整備の遅れの影響は。  
**答** 経費削減や新メニュー作りなど、経営改善に取り組んでいる。駐車場整備で来客数への影響はあった。尚、今後は周辺施設と連携し、交流人口の拡大に努める。木曜日は工事の間だけ移転している。



▲施設整備で集客増に期待



宮田 俊一 議員



▲昭和 34 年建設の本庁舎

### 新施策を示せ 取り組んでいく



▲朝の声掛け運動

**問** 温泉の取得は3,000万円、町の資産として計上している。温泉の水量は、毎分35.4立方である。温泉の成分は、平成24年度に薬品会社と協議したが、変わりはないと聞いている。硫酸冷鉱泉で、25度以下である。

**答** 維持管理はどうなっているのか。民間に譲渡するとの計画もあると聞いているが、経営していく上で、温泉の水量はどれぐらいあるのか。高知県衛生研究所の平成元年の温泉の成分と26年経った成分の変わりはないのかを問う。

**問** 色々の状況はあと思うが、人間形成の為に町民の皆さんと明るい町づくりを目指して行動していく。

### その他の質問

**問** 社会教育について、作法の教育指導は。



▲活用がされていない温泉資源

### 新庁舎計画の進捗は 検討委員会の答申待ち

**問** 新庁舎については、何も示されていないが、計画は変更があったのか、無いのか。

**答** 現在、創生本部を設け、新しい施策も検討し取り組んで行く。

**問** 現在、日本全国地方創生と騒がれている中、今年予算の中では、継続事業に対する予算が多く組まれている。本町の将来の為、新しい企画、政策を立てるべきと思うが、具体的な企画、立案を早急に示すべきである。

**問** 本町の過疎化を克服し、活気溢れる「まちづくり」を実現させる、地方創生にかけると決意を問う。



▲待たなし、地方創生

### サービス付き 高齢者向け住宅 の建設を急げ 検討する



▲バリアフリーイメージ（三区集会所）

**問** いきいきあんしん総合計画の改定箇所は。  
**答** 住民にパンフレットを配布し、周知する。

### 地方創生にかける 決意は スピード感をもって 取り組む

**問** これから将来を左右する重要な施策が目白押しである。職員の年齢構成の偏重や人的不足による業務の停滞が懸念される。定員増員等の対策が必要ではないか。



▲職員体制は十分か

**問** サービス付き高齢者向け住宅とは、単身や夫婦向けの賃貸住宅で「自宅」か「病院介護施設」という二者択一でなく、その中間に位置するものです。入居要件：60歳以上。自立・軽度の要介護者。施設の特徴：バリアフリー対応の賃貸住宅で自宅に近いイメージ。介護スタッフによる見守り、生活相談などがある。

**問** 少子高齢化の中、自宅生活に不安がある介護度2以下の住民や移住者用に、国民年金者でも入居可能な住宅の整備を急ぐべきではないか。

**問** 町政105周年及び野中兼山生誕400周年行事計画は。  
**答** 105周年は嶺北中央病院70周年行事と合わせ実施する。生誕400周年は兼山会なども協議し、計画してゆく。

### その他の質問

**問** 地方創生戦略会議の進め方は。  
**答** 長期ビジョンを示しながら、論議してゆく。



岩本 誠生 議員

**問** 空き家対策は、田舎暮らし等の移住人口向けの空き家バンクを主体に取り組んで来たが、崩壊寸前の危険な空き家については防災等の観点から、法の趣旨に沿って対応しなければならぬ。空き家を除去したら固定資産

**答** 空き家対策特別措置法が施行され、本町においても5月下旬までに方針を定め対策を講じなければならぬ。固定資産税減額の優遇措置対象外となるためその効果が危惧されるが、対応について聞く。一方有効活用の促進から空き家バンクとの整合性は。

### 空き家対策が法制化されたが法の趣旨に沿って対応する

**問** 税が6倍になることから、除去が進まないことが心配されるが、示された判断基準により、有効活用と除去の両面から空き家対策を図ることとする。



▲利用が求められる空き家バンク

### 国保税・介護保険料の見通しは動向をみながら検討する



▲町民の命と健康を守る国民健康保険

**問** 今後の動向をみながら国保運営協議会委員と共に検討していきたい。介護保険については、基金も少なくなり数年先の状況を考えれば保険料のアップを図ったところであるが、高齢者の負担増になっていくことから、今後対応策を考えた。

**答** 国保財政は、厳しい状況にある。平成27年度には現状維持を保っているが、国保加入者の減少に伴い、やがて値上げが必要となってくると思われる。平成30年度からの国保広域化見通しも含めて、現状と見直しを聞く。介護保険料は、平成27年度は平均月額900円アップするが、高齢者等の負担が大きくなりすぎている。各自自治体で額に高低差が大きくその取り組みが異なっているが、保険料の高い本町はもっと努力すべきではないか。



▲特別養護老人ホーム嶺北荘

**問** 地方創生特区も視野に入れ、老人福祉施設(特養・グループホーム等)の整備について積極的に取り組むべきではないか。雇用対策とともにその波及効果は大である。さらに町内に福祉事業者を育成、有償ボランティア制度の導入等で福祉産業振興策を提言する。

### 地方創生計画に福祉産業の導入を福祉のまちづくりに積極姿勢で取り組む

**答** 提言された地方創生における福祉産業への取り組みについては、「福祉のまちづくり」として積極的に取り組んでいく。具体的には今後どうしていくかを議会と共に協議していきたい。

#### その他の質問

**問** 子育て支援として学校給食費・学習ドリル代・図書費等の無料化等検討すべきでは。  
**答** 制度的にも検討し可能なものは実施する。  
**問** 家具転倒防止補助金制度の成果が低い。周知徹底し普及の拡大を図るべきでは。  
**答** 効果的な方法を検討し、拡大を図る。

**問** 介護予防事業(ミニデイやリハビリキッチン等)を利用しやすいように、送り迎えなど利用者の目線に立ったサービスを提供できないか。  
**答** 利用しやすいサービスが大事である。デマンドカーなども含め、社協、事業主とも話し合い、議論を深めて、利用者寄り添った状況を作っていくよう、サービスの向上を検討していきたい。

### お年寄りに優しいサービスをサービスの向上を検討



上田 亜矢子 議員



▲友達が待つデイサービス

**問** 若者定住促進の観点からも、本山町で結婚し、住み続けようという意思のあるカップルに、結婚祝い金を出してはどうか。  
**答** 若者が定住し、子どもを育てていく環境づくりとして、魅力ある祝いの金制度である。地方創生の取り組みの一環としても、できるだけ早く制度化するよう検討する。



▲出会いも生まれるイベント(一期一笑)

### 子ども達に地域を知ってもらいたい歴史講座などを開催

**問** 郷土を愛し、貢献できる人材は、ふるさと本山町をよく識ることにより育つ。将来の為に、より地域学習に力を入れてはどうか。  
**答** 将来に渡って本山町が発展していく為には、一人一人が郷土愛を持つことが大切である。本山町の歴史文化史料集の作成、配布、防災学習の取り組み、歴史講座の開催などを計画している。地域を真剣に思う子ども達を育成していく決意をもってしているとこである。



▲防災学習(本山小学校)



▲防災学習(吉野小学校)



今西 芳彦 町長

**町政運営の基本的な考え方**  
平成27年度から、地方創生への取り組みが本格的に動き出し、人口ビジョンと総合戦略を策定するが、今ある「本山町振興計画」との整合性を図りながら、取り組むべき施策とその具体的な実行策を企画立案する。

向けて取り組む。

**まち・ひと・しごと地方創生について**

地方版総合戦略に盛り込むべき施策としては、4つの基本目標①しごとづくり②ひとの流れ③結婚・出産・子育て④まちづくりに係る各分野を幅広くカバーすることが望まれている。

策定は、産官学金労言、女性、若者、高齢者など広範囲の方で委員会を設置して、地域特性を把握した効果的な政策立案を進める。

**アウトドア拠点づくりについて**

アウトドア拠点づくり事業は、創生戦略と併せて交流人口の拡大・地域活性化策の大きな柱として進める。

**庁舎建設について**

現在、庁舎建設等検討委員会を鋭意協議中である。答申内容を基に町の方針を示す。

**産業振興について**

農業は、基盤整備や農作業の共同化、受委託事業の推進、農地の遊休化、集落営農の推進と活動等を支援する。畜産は、優良素牛導入事業

を創設し、増頭対策と経営の安定化を目指す。

林業は、人材確保を進め、本山町森林組合等関係機関と連携を図り、有利な補助事業等を活用し、地域の林業再生に取り組み。

鳥獣被害対策は、電気柵や防止ネットの設置等による農作物を守る取り組みを支援と、狩猟者確保に取り組む。

商工業は、国の平成26年度補正予算を活用して、プレミアム付商品券を本年度発行し地域経済の活性化を推進する。観光では、「白髪山八反奈路根下がりヒノキ群生地」が本年2月、天然記念物指定の答申を受けた。周辺資源と連携させ、エリアとして取り組む。

**住宅対策について**

住宅事業は、引き続き改良住宅建設事業を推進する。また、市街地地域への居住人口の増加を図るため、空き地の確保や町有地の活用を図り住宅建築を進める。

**道路整備について**

国道439号は、新本山バイパス構想を含め、県道では、県道磯谷本山線、県道坂瀬吉野線の改良促進を要望する。土佐本山橋の架替は、橋脚

工事に加え、本年度から五区地区及び寺家地区での橋台工事、上部工の製作に取り掛かり、早期完成に向けて取り組む。

町道吉野橋通り線の吉野橋は、本年度吉野橋撤去を行い、県道田井大瀬線への歩道設置を高知県と協議しながら進める。

**水道事業について**

平成27年度は本山系配水池築造工事並びに送配水管の改良工事を実施し、平成28年度事業完了を目指す。水道料金改定は、本年4月分から第2段階の改定を行う。

**平成27年度日本一の健康長寿のまちをめざして（保健・医療・福祉・介護について）**

保健・医療・福祉・介護サービスの一体的、効率的な提供を図るため、関係機関との連携・協力を強化する。また、いつでも健康で元気に、住み慣れた地域で生きがいを持って、自立して暮らすことができるよう健康寿命を伸ばすことを推進し、生活習慣病対策、歯科保健対策、認知症対策に取り組み健康長寿の町づくりに取り組む。

**教育の振興について**

学校教育では、子どもたち

の学力の向上や家庭学習習慣の確立、グローバルな人材の育成、規範意識や自尊心の育成、体力の向上、学校の安全管理、災害を想定した防災教育の充実など、喫緊の課題に対応するための取り組みを充実させる。

社会教育では、本町の恵まれた自然や風土に息づく歴史・文化遺産を大切にするとともに、住民が地域の課題を解決していくこうとする意識の醸成を図る。

**町制施行105周年、嶺北中央病院開設70周年、新町合併60周年**

本年度は、町制施行105周年、嶺北中央病院開設70周年、新町合併60周年の節目の年にあたる。特に嶺北中央病院は、この節目の年に、記念式典の開催と住民参加型のイベントを計画している。

他に次の項目が示された。災害予防対策、環境対策、国保事業、国土調査、地域活性化対策、地域移住・定住促進、中高一貫教育の振興、嶺北中央病院

## 広域会議

**主要施設整備が着々と進行 4月より、給食費10円値上げ**

3月18日第1回定例会が開催されました。新議長に岩本議員（本山町）を選出後、一般会計予算を始め、12議案全てを可決しました。なお、行政報告及び議案の主要概要は次のとおりです。

**1. 広域行政組合教育委員会教育長 澤田教育長（本山町） 任命の同意**

**2. 清掃センター**  
平成27年度は長寿命化総合計画策定と発注支援業務を実施。平成28年度、基幹的設備改良工事を開始、平成29年度に事業完了予定。

**3. 衛生センター**  
施設の新設の方向で計画を進める。

**4. 嶺北消防署**  
平成27年度、本署の耐震改修により対応。大豊分署は、大豊町総合ふれあいセンターに移転。



▲改築される嶺西学校給食センター

**5. 給食センター**  
平成27年度、基本設計と用地購入。5月、国からの補助事業の内示があれば、改築に向けた作業を実施する予定。消費税の増税等により、4月より給食費を10円値上げする。

## 議会運営委員会

**議会改革を推進**

議長より議会改革に関する諮問を受け、中土佐町議会研修も含め計4回の審議を経て、「議会改革、議会のチェック機能、議会政策提言力の向上を主眼に置き、」次の12項目について2月27日に答申した。

この項目については、今後検討や研修が必要な項目もあるが、すぐに取り組める項目もあり、⑩については3月議会で表題部分を変更した。

**ア. 議会の問題点**

- ①住民に対し議会活動の広報不足や議会の活動状況が十分理解されていない
- ②議員研修会・勉強会が少ない

**イ. 検討必要事項**

- ③議会報告会・意見交換会のあり方
- ④通年議会開催への検討
- ⑤一般質問の運用方法
- ⑥委員会の運営方法
- ⑦議案審議のあり方
- ⑧議会中の規律
- ⑨議会基本条例の条文の確認
- ⑩議会傍聴人取締規則の内容の検討
- ⑪特別委員会のあり方
- ⑫タブレット端末の議会の利用



▲委員長より議長へ答申を提出



▲耐震化改修される嶺北消防本庁舎

# 本山町 議会だより



高知県長岡郡本山町議会

vol. **176**

平成 27 年 5 月 7 日 発行

本山町議会だより

第 176 号



入園おめでとう

今回の主な内容

- 〈平成 27 年第 1 回定例会〉  
平成 27 年度一般会計 44 億 8900 万円  
定住支援事業の一部凍結を条件に可決 ..... 2
- 議案等賛否一覧... 4    一般質問..... 8    広域議会報告・議会改革 ..... 19
- 委員会報告..... 6    町長施政方針... 18    議会への意見を募集しています ..... 20



## 平成 27 年度 第 4 回 本山町議会報告会・意見交換会開催

4 月 2 日～ 16 日の日程で、6 会場で開催しました。今回は、10 名の議員全員で各会場を回りました。各会場では議会に対し様々な要望や意見が出され、活発に意見交換することができました。区長さんをはじめ、出席して頂いた皆様、また意見や要望を出席者に託していただいた皆様、ありがとうございました。各会場でいただいた意見への対応については、臨時号に掲載します。



寺家公民館                      本山町プラチナセンター                      上関集会所

### 議会に対するご意見 などを募集しています



ご意見やご感想などをお聞かせください。  
いただいた内容は、広報編集委員会等で協議  
のうえ、紙面で紹介していきます。  
皆様の投稿をお待ちしています。

#### 記事の受付

本山町議会事務局 広報担当 ☎76-2130  
✉ gikai@town.motoyama.kochi.jp

### 編集 後記

今年 2 月 4 日に越知町へ、各広報委員が研修に行きました。さすがに全国町村議会広報コンクールで優良賞の越知町の交流会での一つ一つの説明に各議員は「凄い」との言葉がでていました。研修後出た言葉は「目からウロコが落ちたようだ」住民の皆様が手にとり読みたいと思う広報にするため、何度も委員会を開き模索しながら頑張っています。

今回から表紙と裏表紙をカラーにしました。今後もご期待ください。 (中山)

- ◎ 広報編集委員会
- 委員長 細川 博司
  - 副委員長 大石 教政
  - 委員 永野 栄一
  - 委員 中山 百合
  - 委員 長瀬 美和

発行/高知県本山町議会 発行責任者/議長 岩本誠生 編集/広報編集委員会  
〒781-3692 高知県長岡郡本山町本山504番地  
電話/FAX(0887)76-2130